

## わたしの町-台中市



<https://www.merit-times.com.tw/NewsPage.aspx?unid=521551>

台湾-カクミンケツ

## (1) わたしの町-台中市を説明する

台中(たいちゅう/Taichung)は、台湾の中部地方で最も賑やかな町である。台中の別名は『文化城』で、これは十八世紀から清朝植民地時代のものにして、日本植民地時代のものにして、多く歴史遺跡が残っているという意味だ。台中は本来は台中県と台中市二つがある。しかし、2014年から、台湾政府は経済の規模を拡大するために、台湾行政区画で人口トップ6の都市を整合六都という直轄市に昇格させた。2017年以降から、台中の人口が初めて高雄を超えた。今、台中の面積は約2000km<sup>2</sup>で、人口は約280万人である。

台中市は、台湾の中部の西に位置している。台北から約170km離れており、台湾新幹線で42分ほどである。台中市の北側は苗栗県、南側は彰化県、東側は台湾の中央の南投県に接しており、西側は台湾海峡に面している。

台中は四季がはっきりしている。特に冬は寒く、夏は暑く、春と秋は時間が短い、涼しく快適だから、私は大好きな季節だ。ほとんどの日本の地域のように山もあるし、海もある。毎年、6月から9月にかけて、太平洋から多く台風が襲われるが、中央山脈のおかげで、台中は台湾東部地域より、災害が少ない。



(参考 URL: <https://jobus.tw/台中市區夜景>)

## (2)わたしの町-台中市で紹介したいものは台中駅

台中駅は台湾の中部地域で非常に重要な中継地である。初めに台中駅は1905年に建てられた。これは第一代だった。その時、日本から皇室閑院宮載仁親王は台中人と一緒に開通式に参加された。1917年、当時の日本政府はだんだん台湾が全体的に重視されたから、中部地域の経済の活性化のために、同年、台中駅は東京駅と同じ辰野式建築に改修された。これは第二代だった。約一世紀を経て第3代の台中駅になった。2018年、台中が直轄市になり、輸送量が増加したことから、極めて立派な新台中駅が旧台中駅の隣に建てられた。つまり、1905年から今まで、台中駅は、2度改築された。徐々に規模が大きくなっている。現在、第三代の駅の様子は現代的である。また人々に利用されている。一方、旧台中駅は日本式の風格だから、今、世界から特に日本からの観光客の大評判となっていて、人気があるところだ。

2018年の台湾鉄道管理局の最新の調査報告書によると、台中駅の乗客数は台湾で五番目になった。レベルは特等ということは最も級別である。(台湾鉄道会社の規格によって特等、一等、二等及び三等などの級別に区分される。)毎日の出入人数は約5万人だ。台北駅と比較すると約二分の一である。(台北駅は台湾の唯一の毎日10万人数を超える駅である。)

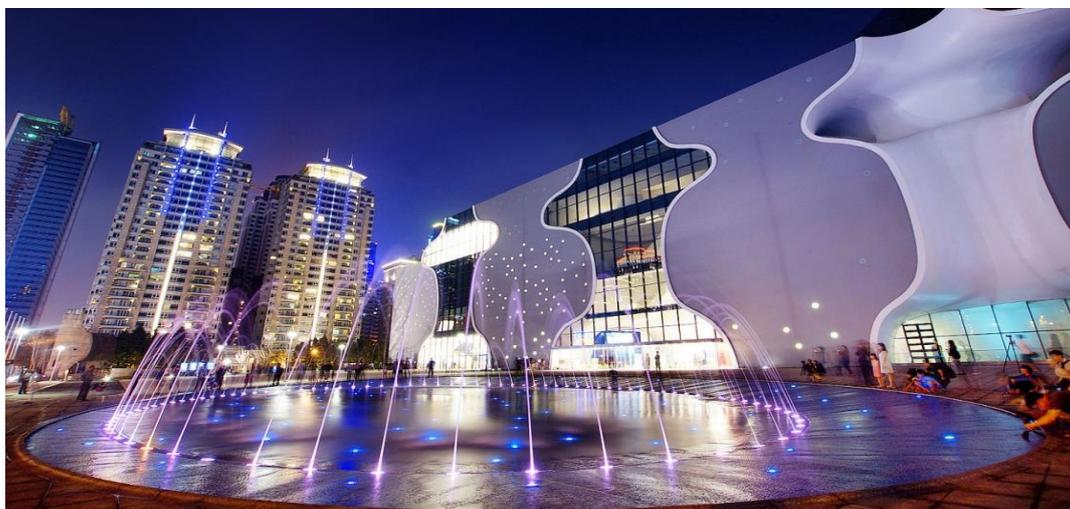
この20年間、台中駅の周りは徐々に繁栄して来るはずだ。しかし、日本のような経済の不思議な現象が起こった。『失われた20年』という奇妙な発展をしている。それは経済学者に良くも悪くもない評論をされた。なぜこれが起こったのが具体的に言うて難しい。これは台中駅の周りのお金持ちの自業自得としか言いようがない。現在、台中人である私から見ると、台中駅の周りの発展は徐々に東南アジアから労働者たちの活躍する中心のようになっている。東南アジアの労働者のおかげで、台中駅の周りは新しいスタイルになっている。あらゆる種類の東南アジアの料理が食べられたり、いろいろ文化や言語が感じられたりしている。しかし、台中に生活する東南アジアの労働者が、心のおもむくままに振る舞うから、台中駅の周り人に迷惑をかけて、悩ませた。少し台中駅の周り人の気持ちを考え、「郷に入っては郷に従え」をしなければならない。けれども、など東南アジアの労働者にとって、自分自身の生き方が変えられることができなさそうだ。それで、それは、台中駅の周りの発展が最も難しい妨げであるので、解決しなければならない。

### (3)わたしの町-台中市の過去-現在-将来

大台中市（昔の台中県と台中市の合計）の人口は、1981年に約160万人だったが、2000年には約240万人に増え、去年、2019年に約280万人となった。過去の台中はまだ直轄市の整合前で、昔の台中市と台中県は著しい差異があった。地域の発展はバランスがとれていなかった。旧台中市は多数の資源や交通を集めていたから、今の大台中市の一部分の昔の台中県はうまくいかなかった。少し悲惨な境遇であった。

直轄市の整合の以降の現在、大台中に世界で最大の火力発電所（旧台中県の龍井郷）があり、工業団地（旧台中県の大里市と潭子郷）もあり、農業地域（旧台中県のほとんどの村）もあり、商業の中心地（旧台中市）もある。様々な産業が含まれているから、台湾の他の都会だけではなく、世界の都市と比較すると、競争力を備えている存在である。2018の年末に日本から三井不動産という日本で最大の不動産会社は台中港湾局と協力し、台中三井アウトレットパークは海線（台中の近く西海側の地域の通称）の龍井区にオープンした。それは三井アウトレットパークという国際企業として台湾で第二、海外で第四の拠点である。また、2015年に台中国家歌劇院が建てられて完成した。それは日本から最も有名な建築家の伊東豊雄が主要な設計者となった。一方、台中の近年で、莫大な資金がかかる。公共施設の一つだった。世界で最も難しく建てる建物と呼ばれている。それ以外に、台湾唯一の海線の鉄道も台中の西海岸に位置する。起点と終点は竹南から彰化までだ。高美湿地という台中の有名な観光地の一つはちょうど海線の清水駅にある。

近い将来は、高架の台中地下鉄が建てられて完成する。台中人のみんながわたしも楽しみにしている。台中人が台中の将来の発展に自信がある。これはなぜ台中の人口が徐々に増えている原因だと思う。



(参考 URL:[http://www.millenniumtaichung.com.tw/spot/ins.php?index\\_m\\_id=14&index\\_id=17](http://www.millenniumtaichung.com.tw/spot/ins.php?index_m_id=14&index_id=17))